

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2022年5月24日
【会社名】	株式会社はるやまホールディングス
【英訳名】	Haruyama Holdings Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中村 宏明
【本店の所在の場所】	岡山市北区表町1丁目2番3号
【電話番号】	086(226)7101(代表)
【事務連絡者氏名】	CFO 西山 剛生
【最寄りの連絡場所】	岡山市北区表町1丁目2番3号
【電話番号】	086(226)7101(代表)
【事務連絡者氏名】	CFO 西山 剛生
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年3月29日付けで、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき提出しました臨時報告書の内容につき、未確定事項が確定いたしましたので、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

2 報告内容

- (2) 当該事象の内容
- (3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

3【訂正内容】

訂正箇所は____を付して表示しております。

(訂正前)

(2) 当該事象の内容

不採算店舗の閉店による店舗閉鎖損失引当金繰入額と収益性の低下などによる減損損失の合計1,500百万円（店舗閉鎖損失引当金繰入額200百万円・減損損失1,300百万円）を含む、1,610百万円の特別損失を計上する見込みであります。

また、滞留してきた未消化在庫についても、今後店舗閉鎖を進めることなどによる販売可能性を考慮し、当該商品の商品評価損を最大で1,570百万円を売上原価に計上する見込みであります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2022年3月期の損益及び連結損益に与える影響につきましては、現在精査中であり、分かり次第速やかに開示いたします。

(訂正後)

(2) 当該事象の内容

不採算店舗の閉店による店舗閉鎖損失引当金繰入額115百万円、主に収益性の低下などによる営業店舗の資産にかかる減損損失1,797百万円及びその他特別損失173百万円の合計2,087百万円の特別損失を計上することになりました。

また、滞留してきた未消化在庫についても、販売可能価格を見積りした結果、当該商品の商品評価損を224百万円売上原価に計上しました。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2022年3月期において、224百万円の商品評価損及び2,087百万円の特別損失を計上いたします。